

地域自治区の延長は なぜ1年なのか

質問

地域自治区の存廃について、3月議会で激変緩和期間（5年）までの延長の陳情採択、6月議会で市長、市議会議員任期の期間（約2年半）の延長の議員発議可決、地域自治区廃止関連議案が否決された。市長は延長期間1年とし、その後自治区廃止を明確にした。議会の意思は発議案のとおりであり、民意も反映している。なぜ1年の延長か、また延長後自治区の廃止か。この事は、議会、民意を無視し、自治区廃止ありきではないか。

市長

地域自治区の廃止の考えに変わりはない。発議案は延長期間を明確にしていなかったため、早目に考え方を示し、今後、地域協議会、振興会や住民に廃止の考えを丁寧に説明していく。

前沢診療所を早期に再開すべき

質問

前沢診療所が休止してから1年以上が過ぎた。市内の公立医療機関から、医師を派遣し所長兼務で暫定的に開



再開が待たれる前沢診療所



さとう いくお 佐藤 郁夫 議員(市民クラブ)

業できないか。また業務委託、指定管理等あらゆる方策を検討し、早期に開業すべきだ

市長

所長兼務はそれぞれの現施設での勤務状況から困難である。業務委託、指定管理等の検討はするが、基本的には、医師を招へいし正式な形で開業させたいと考えている。

地域自治区は廃止、総合支所は縮小すべき



ちば まさひろ 千葉 正文 議員(奥和会)

質問

合併10年となるいま、地域自治区は廃止すべきであり、総合支所も縮小すべきと考えるが、市長の考えは。

市長

地域自治区は合併協議書の変更に1年延長し、その期間内に30の地区センターで説明会を行い、十分な住民理解を得て平成28年度末に廃止したい。総合支所は平成28年度から市民福祉課、地域課の2課3グループとし、支所業務を行う職員数を半減させたい。

ガンバレごみの減量

質問

ごみの減量について視察した東京都板橋区では、「板橋かたむり運動」で保育園、小学校から家庭・町内会・事業所まで減量化の啓蒙活動を継続的にを行い、成果を上げ



振興会で設置した表示板

奥州市のごみ排出の現状とごみ減量の取り組み状況は。

市長

平成26年度は燃えるごみは2万412t、不燃ごみは1305t、資源ごみは483tである。ごみ減量化の取り組みは、昨年10月と今年6月に市公報でごみ処理の特集記事で理解を求めた。

また、今年はごみ処理施設の見学会を実施し、ごみ減量の必要性を実感してもらった。日常的には奥州市環境衛生組合連合会や奥州めぐみネットの方々の活動もお願いしている。

胆沢城へ行ってみよう

質問

胆沢城跡史跡内の道路整備と案内標示、説明板等の整備ができないか。

教育委員長

史跡内の道路拡幅等はむずかしいが文化庁との協議は続ける。標示板は佐倉河地区振興会で設置する予定である。来訪者が散策、見学に役立つ探訪パンフレットを用意する等ソフト面の充実を検討する。